

プレス公表（運転保守状況）

2016年10月13日

No.	お知らせ日	号 機	件 名	内 容
	2016年 8月1日	-	荒浜側ボイラー建屋内での非放射性の水の漏えいについて（区分）	<p>【発生状況】 2016年7月29日午前11時44分頃、荒浜側ボイラー建屋地下1階NSDサンプエリア内（非管理区域^{*1}）に設置しているNSDサンプピット^{*2}の水位高/低の警報が発生しました。 現場の状況を確認した結果、当該NSDサンプピットから水（非放射性）がサンプエリア内に溢れていることを午後0時25分に確認しました。 漏えいした水はサンプエリア内に留まっており、漏えい量は約9m³（7m×8.5m×15cm）と評価しています。漏えいは、蒸気の戻り水を抑制したことにより停止しております。その後、当該NSDサンプポンプの運転により、床面およびサンプピットの水位が低下していることを確認しています。 本事象による外部への放射能の影響はありません。</p> <p>*1非管理区域：管理区域は放射線による無用な被ばくを防止するため、また、放射性物質による放射能汚染の拡大防止をはかるため管理を必要とする区域で、非管理区域は管理区域外の区域 *2NSDサンプピット[非放射性ストームドレン移送系サンプピット]（Non Radioactive Storm drain System）： 非管理区域で発生する非放射性廃液を処理する系統</p> <p>【対応状況】 漏えいした水については、排水処理を実施しました。</p> <p><u>調査結果</u> ・給水タンク水位調節弁が不調のため、給水タンクへ補給水が流入し、給水タンクの水位が高止まりしている状態にありました。 ・3号機への蒸気の供給を開始したことにより、給水タンクへの蒸気の戻り水の量が増加しました。 ・蒸気の供給開始前に給水タンクの水位を下げる操作が行われていませんでした。</p> <p><u>推定原因</u> ・給水タンクの水位が高止まりしている状態で、蒸気の戻り水の量が増加するという、給水タンクから水がオーバーフローする要因が重なったことにより、オーバーフローラインを通じてNSDサンプピットに流入し、NSDサンプポンプで排水処理しきれず、水が漏えいしたと推定しました。</p> <p><u>再発防止対策</u> ・蒸気の供給を行った際の給水タンクオーバーフローの防止に関わる必要事項として、各号機への蒸気の供給開始前に給水タンクの水位レベルを通常水位付近まで下げる運転操作を手順とし、その旨を手順書へ反映します。</p>

荒浜側ボイラー建屋 (非管理区域)

